

QA/QC 委員会

日本医学物理学会 会長 殿

平成 25 (2013) 年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 西尾 禎治

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	西尾 禎治◎、遠山 尚紀○、青山 裕一、秋田 和彦、穴井 重男、石川 正純、岡本 裕之、川田 秀道、木藤 哲史、熊崎 祐、黒岡 将彦、佐々木 浩二、隅田 伊織、高倉 亨、高橋 豊、辰己 大作、田村 昌也、照沼 利之、中村 光宏、成田 雄一郎、芳賀 昭弘、花田 剛士、保科 正夫、三津谷 正俊、矢野 慎輔
今年度課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 粒子線治療 QA/QC ガイドラインの監修。 2. 標準計測法 1 2 への移行における注意依頼。 3. ガイドラインの作成について。 4. JSMP QA/QC 委員会の守備範囲の明確化。 5. IMRT アンケート内容の feedback の支援。 6. 今後の活動内容
委員会開催 履歴	<p>4月13日 於：パシフィコ横浜 出席 14名</p> <p>9月17日 於：大阪大学 出席 10名</p> <p style="text-align: center;">適宜 メール会議</p>
総括 不足の場合は別 紙付加可	<ol style="list-style-type: none"> 1. QA/QC 委員会メンバー6名、粒子線治療施設の有識者8名の計14名による監修WG(ワーキンググループ長:照沼委員)による粒子線治療 QA/QC ガイドラインの監修を JASTRO QA 委員会及び JSRT 治療分科会と共同で実施した。粒子線治療 QA/QC ガイドライン監修メンバーと本執筆メンバーの構成による、本 QA/QC 委員会の下に位置付けされるグループ(“粒子線治療 QA/QC グループ”など)を作り、今後の粒子線スキャニング照射の QA/QC ガイドライン作成など、JSMP にオーサライズされる活動体制を構築する。 2. 計測委員会及び JASTRO QA 委員会の連盟で「治療用電離箱線量計の水吸収線量校正と標準計測法 1 2 への移行に基づく貴施設における評価線量の変化確認のお願い」を作成した。 3. ガイドラインの重複は良くないので一本化し、3学会(JASTRO QA 委員会、JSRT 治療分科会、JSMP QA/QC 委員会)の連名で出していく。医療機器関連のガイドラインは厚生労働省との連携も必要となるので、JASTRO 中心で、物理技術的なガイドラインは、JSMP を中心に作成する。ガイドライン作成のためのパスを明確にする。 4. 本委員会の活動においては、JSMP 計測委員会、JSMP 教育委員会、JASTRO QA 委員会との守備範囲の調整を図る。 5. QA/QC 委員会側として、結果を知りたいアンケート項目に関しては中村委員へ解析の依頼をする。中村委員が研究成果をまとめ、本委員会は成果まとめの支援を行う。 6. 今後は、多様化する QA/QC に対応し、更に委員会の活性化のためにサブグループを作って活動する(グループ案:通常照射、IMRT、電子線、IGRT、粒子線、小線源など)。